



「いきいき なかよく のびのびと 笑顔あふれる 稲野小学校」

伊丹市立稲野小学校長 片山 尚

もうすぐ夏休み！

明日はいよいよ1学期の終業式です。昨年度は、1学期の行事がほとんど中止や延期になり、子どもたちにも、どこかやりきれない雰囲気は漂っていましたが、今年度はコロナ対策に気を付けながらも宿泊行事や社会見学、水泳指導、授業参観等を実施することができました。子どもたち一人一人が様々な行事を通し、自分なりの達成感を味わうことができたのではないでしょう。

明後日からは夏休みです。子どもたちは指折り数えてこの日を待っていることと思います。ただ、心配なのは、最近の新型コロナウイルスの感染再拡大です。夏休み中は、感染防止対策をしっかりと、お子様が安全に過ごされることを願っています。

また、今年度の夏休みも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から夏の学習会や水泳教室、自由プール等については自粛させていただきま。その分、各家庭にご負担をおかけすることになると思いますが、どうぞご理解をお願いいたします。また、夏季休業中は特にコロナ対策や熱中症予防に加え、水難事故や交通事故などの心配もあります。学校でも夏季休業中の安全な暮らしについてしっかりと指導いたしますが、ご家庭でも注意喚起等をよろしくお願いいたします。

夏季休業中のタブレット持ち帰りについて



今年度も、夏季休業中に、子どもたちが普段学校で使用しているタブレットを持ち帰ります。学年ごとにタブレットによる課題が出ています。が、それ以外に、伊丹市総合教育センターの『みんなの学習クラブ タブレット』や文科省の『子どもの学び応援サイト』等も、ぜひ利用し、夏季休業中の学習に役立てていただけたらと思います。また、夏休みの自由研究などにも利用できるのではと考えています。

タブレットの扱い方や、使用時の約束などについては、学校でも指導しますが、ご家庭でもご協力をいただかなければならないこともあります。お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

6年生、「貴重な経験です、着衣水泳！」



先日、6年生がプールで着衣水泳を体験しました。いざという時に、どのような行動を取れば良いのかということ、実際の体験を通して学ぶためです。もしもの時には慌てず、できるだけ力を使わず水に浮いて助けを待つことが大切です。服を着たまま泳ぐとすぐに体力を消耗してしまうので、あまりおすすめではありません。子どもたちも実際に服を着て泳いでみることで実感できたようです。

救助を待つ間、いかにして浮いて待つことができるかが命の無事を左右します。ペットボトル1つあればかなり体を浮かせられることや、ペットボトルがなくても息をしっかりと吸って体の力を抜けばしっかりと浮くことも体験しました。また、友達が溺れそうになっていたとしても、決して自分が水に入って助けに行かず、大人に知らせることが大切だということも学びました。

夏季休業中には海や池、川などでの水難事故が多発します。いざという時に自分の命を守るためにも、今回の「着衣水泳」は非常に有意義な時間となりました。この経験はきっといざという時に活かされると思います。